



あなたの服を地球の福に。

FUKU-FUKU プロジェクト



FUKU-FUKU
PROJECT

綿からバイオマスエネルギーをつくる新技術を活用して、衣料品の100%リサイクルのしくみをつくるために、業界を越えた企業が手をつなぎました。無印良品は、プロジェクトの一員として、服の回収実験を行います。もう着なくなってしまった服がタンスのなかに眠っていたら、期間中に、無印良品のお店にお持ちください。

回収実験期間：8月1日(土)→10月31日(土)

無印良品

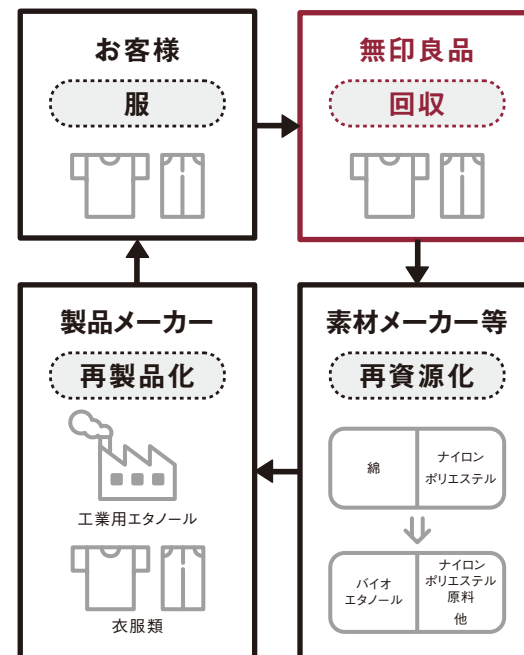
衣料品リサイクルのしくみをつくるために、
あなたも服の回収実験にご参加ください。



**FUKU-FUKUプロジェクトは、
衣料品の100%リサイクルをめざします。**

- 1 回収した衣料品は自然界に存在する酵素と微生物で分解し、衣料品に含まれる綿をバイオマスエネルギーのひとつであるバイオエタノールとして再生します。バイオエタノールは、工業用エタノールや石油に変わる燃料として利用します。
- 2 ナイロン、ポリエステルなど、綿以外の素材は、再びナイロン、ポリエステルなどの原料へ再資源化します。
- 3 残った材料は熱分解し、燃料等で使うことで、ほぼ100%のリサイクルを実現します。

今回の実験は、「回収」から「再生資源の販売」に至るリサイクルのしくみを検証するためのもので、回収実験は8月～10月に実施されます。



役割を終えた服が国産のエネルギーに。

バイオエタノールは石油代替燃料として注目されるエネルギーです。廃棄されてきた衣料をバイオエタノール化すれば、限られた化石資源の消費を減らすばかりか、食物との競合もありません。

地球温暖化対策にも役立ちます。

現在、日本国内で廃棄されている綿約120万トンから生産可能なバイオエタノールは約85万キロリットル、削減できるCO₂は年間約130万トン(CO₂)に及びます。

*日本政府は、2030年までに年間600万キロリットルのバイオエタノールの生産を目標として掲げています。

FUKU-FUKUプロジェクトは、国の支援を受けて行われます。

衣料品の100%リサイクルをめざす今回の回収実験は、良品計画、ワールド、三菱商事、東レ、帝人ファイバー、東海染工、積水化学工業、日本環境設計が中心メンバーとなり、経済産業省および中小企業基盤整備機構の支援を受けて行われます。

〔回収の期間〕 8月1日(土)～10月31日(土)

〔回収の方法〕 実験期間中、無印良品有楽町、MUJI東京ミッドタウン、MUJI新宿、MUJI銀座松坂屋および、神奈川県、町田市内の無印良品の店頭(一部店舗を除く)に、不要になった綿、綿混紡の衣料品をお持ちください。

〔回収対象商品〕 無印良品の紳士、婦人、子供服(下着、雑貨は除く)。※洗濯ネーム表示に株式会社良品計画と記載されているもの。

〔回収時のお願い〕 リサイクルを有効に行えるよう、回収品を店頭にお持ちになる前に必ずお洗濯をお願いいたします。

〔実験協力のお礼〕 実験にご協力いただいたお客様にはポリカーボネイト軸中性(ゲルインキ)ボールペン(税込100円)をさしあげます。※景品は予告がなく変更される場合がございます。

<http://ryohin-keikaku.jp/>

無印良品